



宇宙十職 宇宙 × 茶道具プロジェクト

第1期 作品リスト

Produced by アバンギャルド茶会



	作家名	コメント
太陽 (Sun)	山本 順子	地球の平和が永遠に存続できるよう、惑星のバランスがいつまでも保たれるよう、太陽は今までと同じように変わらず穏やかな恵みを与えてくれるよう、祈りながら制作しました
	渡邊 陽子	光り輝く太陽のイメージを、素地を彫り、釉薬で表情を与え、金彩で表現してみました。内側はあえて白を残すことで外側の金色と対比し、お茶の緑が加わることで新たなハーモニーを生み出すことに期待！
水星 (Mercury)	古川 響子	惑星の中で一番小さいということでコンパクトなシルエット。公転軌道が太陽に近いということで金彩を施し、水星の渋さに煌びやかさを少々。素材の力強さで水星らしさを！
	沼野 秀章	宇宙茶会、惑星茶碗って言葉にまずわくわく。わくわくしたまま窯焚き中に地震がきてへろへろ。が、どっこい地震に耐えた茶碗を余震にびくびくしながら再度焼き上げました
金星 (Venus)	ワクイ アキラ	金星にはピラミッド型の人工的な建造物があり、それをモチーフにした茶碗。妄想は広がり、WABI SABIを学ぶため金星から地球にやって来た宇宙人「ワビーニョサビーニャ」さんたちも！
地球 (Earth)	野田 里美	器はとても自由で楽しんでいいモノなのだと思っていました。茶道の世界もそうなんだと教えて頂いたプロジェクトです！
火星 (Mars)	潮 桂子	真っ赤な色を求めて制作をしていましたが、だんだんと赤は赤でも生命を感じられる優しい赤を求めるようになりました。このお茶碗の中に火星への思いを沢山込めて作陶しました
木星 (Jupiter)	栢野 紀文	窯だししながら、この茶碗で日本救える！と本気で思いました。
	竹内 玄太郎	手の中で宇宙を感じ いつまでも手の中で包み込み 愛でたくなるような茶碗であってほしい
土星 (Saturn)	鎌田 恵栄	離れてみれば土星、茶をすするとそこに無限の宇宙が広がる。そんなことを毎日、考えてました。
天王星 (Uranus)	叶 具夫	「自転軸が公転面に対して98度も傾いている」との事ですので、実際に傾けて焼きました！
海王星 (Neptune)	金 理有	答えもなく延々と続けている行為が、それでも意味は有ると確信できた一日でした。宇宙を想像し、宇宙を創造する。そんな誇大妄想を原動力に、また一つ、また一つとこれからもつくって行きます。
冥王星 (Pluto)	田村 一	なんの因果が冥王星を選びました。プロトニュウムの語源である冥王=プルートウ。当初は春の到来を柘榴の茶碗に刻みかけたのですが、まさかの事態が発生。非常に意義深い作品になりました。日本に一刻も早い“復活”を祈願しつつ！
宇宙	菱田 賢治	遊びの中に本質あり。作家の想像をかき立てる。茶碗の中に宇宙を見だし、茶を飲み干す。そんな遊びを思いついた近藤さんは現代の利休か光悦のようだ。人との繋がりが新しい作品の誕生の場となる！
月	野田 里美	—
イオ	庄司 千晶	イオは、活火山が噴火し続けるあつくなった星。神話では、ゼウスの妻の嫉妬を買う魅力的な女性。柔らかくも穏やかならぬ雰囲気、そんなイメージで釉薬を作りました。茶会で妖しく光りますように。
エウロパ	kei	Let's stand up together
タイタン	加藤 智裕	太陽の下でご覧ください。金色の結晶が輝いて宇宙を感じると思っています。メタンに侵食された大地を形で表現しました。
ハレー彗星	田村 一	—
オーロラ	木村 隆	惑星のみならず宇宙へのイメージがどんどん広がっていき、すばらしい試みだと思いました。様々なイメージが交錯したらよいなと思っております。
ブラックホール	二階堂 明弘	中心に向かう事と、外側に向かう事は似ています。うつわの中に宇宙を感じて下さい。